

第1回学校運営協議会 議事録

と き：令和8年6月30日（火） 9：30～11：15

ところ：藍住南小学校 第1会議室

日 程	9：20～ 9：30	受付
	9：30～ 9：35	日程説明・自己紹介
	9：35～10：20	授業参観
	10：30～11：15	議題についての懇談

1. 日程説明
2. 校長あいさつ
3. 授業参観
4. 自己紹介
5. 議題についての懇談

①幼稚園経営

○教育目標、目指す子ども像、努力事項、園児数、職員数について

○常時のサポーター活動

いちご倶楽部による月一回の読み聞かせ

ベルマーク集め隊→ドッジビーと交換

○課題とその対応に向けて

絵本の部屋の充実

空き教室を利用し、絵本に触れられる環境を整える

生活や遊びとリンクした絵本を取り入れる

→人参等の野菜づくりの活動と関連を図る

小学校の読書活動へ繋げる

ICT を教育に取り入れる

情報モラル等、保護者に啓発する機会を確保する

Google レンズなどから正しい使い方に触れさせる

チーム保育を進める

責任の偏りが生じている

→多様な教員のそれぞれの持ち味を大切にする

豊かな体験活動を通じた保育の実施

保護者や地域の方々を含め、多くの人との関わりの中で子どもを育てていきたい
→保育の様子を掲示するなど、保育の見える化を進める

②学校経営

○児童数の移り変わり、職員数、年代別職員数、校訓と重点施策、SWPBS について、スローガンについて

○特色ある学校づくり

交通安全教室、調理実習、幼小連携、藍の作品づくり、ラッキーマンデー集会等

○課題とその対応について

確かな学力の向上

R7の全国学力学習状況調査とステップアップテストは、正答率が学年によって異なる結果に

→重点目標を設定し、改善に取り組む。

読書の習慣づけについて

→おはなしくれよんジュニアの活動、週末読書の実施、学校便り等での呼びかけ
豊かな心の育成

スマホなどの ICT 機器について、適切な内容を適度な時間内で使用できるように
→講師を招聘した研修を実施する。

→教員の人権感覚の育成を図る。

教員の不足、業務量増の負担

児童の登下校の安全確保

→藍南サポーターの協力により、教職員の負担軽減を図る

支援の必要な児童について

6. 議題についての協議

委員 地区協の方々とは幼稚園の交流をもっと強くしたい。昔遊びの1回だけでなく、複数回実施することで繋がることのよさが見えてくる。

委員 タブレット等 ICT の利用によって、学習意欲が向上したり、学校にすることが難しい子どもたちが家庭で学習したりすることができる。ICT の普及が教員不足解消の突破口のようなものになるかもしれない。整備が整うように、行政と連携して取り組むとよい。

校長 ICT を使うことで、自分の考えを伝えやすくなったり、調べ学習をしやすくなったり、効率的に学習を進めることができる。情報モラルをきちんと身につけることも大切。

委員 働くお母さんが保育園を希望することが多く、園児が減少しており、幼小連携の効果が薄くなっているように感じる。地域としても幼小の一貫したサポートが難しいと感じるので、保護者が幼稚園を選択できるようなよいアピールがで

きるとよい。

委員 学校運営協議会は学校の応援団で、ここで話し合ったことが少しずつ実現し、学校の強みとなっており、ありがたいと思う。他にも、様々な方面で園・学校の応援をしてくださる方がいれば学校や委員会に紹介していければよいのではないか。

委員 読書の習慣づけについては、なぜ読書をした方がいいのかということについて子どもが理解することが必要。保護者と連携し、読書について家庭で会話ができるようなしくみや工夫があるといい。

委員 読書に興味を持たせていくような取組ができればよい。強制的ではなく、個性に合わせて、徐々に読書が好きになっていくような方向がよいのでは。

委員 目的をはっきりと示すと人を動かすことができることもある。目的について、人が変わっても変えてはいけない部分と時代に合わせて変わっていくべきところがあり、その見極めが大切だと思う。

委員 集団登校の班編制がだんだん難しくなっている。新一年生が、どこの登校班に入ったらよいのかわからない状況がある。PTAを主体にした解決できるよい方法が見つかればよい。PTAの内部に集団登校を扱う部ができればよいと思う。

委員 子どもたちが朝、とてもよいあいさつができるようになってきた。

7. 閉会

